

中心市街地の活性化について問う！



西田 智男 議員

本市の中心市街地では、都市機能の集積エリアとしてふさわしいまちづくりを進めようとしているが、市長が思い描く中心市街地の姿はどのようなものなのか。

市長 私は、人々が町なか回遊を楽しみ、集い、憩える中心市街地をイメージしている。安全安心な都市基盤整備を基本に、本市固有の魅力ある資源や歩きたくなる仕掛けなどのエッセンスを加えることで、住民の皆様はもとより市内外からのお客様にとっても魅力的なエリアになると考える。今後も、魅力あるまちづくりに積極的に取り組んでいく。

◆足利学校の保存活用

問 国は文化財の活用にも重視するよう政策転換を図っているが、足利学校を今後どのように保存活用するのか。

教育次長 現在、保存活用計画の策定に向け議論を進めている。歴史的建造物や伝統行事を次世代へ引き継ぎ、生涯学習活動を強化するほか、観光や映像などの視点で多様な活用を図ることと、足利学校の価値を世界に発信していきたい。



▲足利学校

持続可能な財政運営を！



大谷 弥生 議員

問 地方の財源不足のために発行される臨時財政対策債に対する認識と今後の見通しを聞きたい。

総合政策部長 地方公共団体の一般財源不足については、国の責任によって全額を地方交付税により措置すべきものと考えている。地方の財源不足を臨時財政対策債によって補うのではなく、地方交付税の法定率の引き上げなど、財源確保に向けた抜本的な改革について、全国市長会などを通じて国に要望していく。

◆減災対策

問 災害の種類によっては安全性に欠ける避難場所もあるため、見直しをする必要があると考えるがどうか。

総務部長 本市の指定避難所の多くは浸水想定区域に位置するため、早目の避難やいわゆる垂直避難について日ごろから注意喚起している。また各防災会が指定する一時避難所には、土砂災害警戒区域等に位置する場所もあるため、災害の種類に応じた避難場所の見直しや避難経路確保について、防災講話や合同防災訓練などあらゆる機会を捉えて啓発していく。



▲合同防災訓練の様子(葉鹿地区)

映像のまち構想について問う！



鶴貝 大祐 議員

問 市長が映像を核としたまちづくりを推進する構想を打ち出してから5年を迎える。本市の認知度向上等に大きな成果を上げる一方で、構想の将来像が見えないなどの声もあるが、今後同構想をどのように発展させていくのか。

市長 同構想は10年、20年先を見据えたまちづくりの目標である。今後も積極的な撮影支援をはじめ、人づくりや市民応援団づくりなど地道な取り組みを積み重ねることで、スタジオ誘致や産業創出、雇用などにつながるものと考えている。



▲聖地！西校学園祭の様子

◆市街化調整区域の開発許可

問 市街化調整区域の住宅の建築については制限があり、集落機能維持等に苦労している。一定の要件を定めた上で弾力的な規制緩和への取り組みを願うが、本市の考えを聞きたい。

都市建設部長 平成30年1月、民間開発による低廉な住宅地供給を適切に誘導するため、規制緩和の条例改正を行った。今後とも県との連携を図るとともに、先進地の事例を参考にしながら、許可基準緩和の可能性について調査研究していく。